



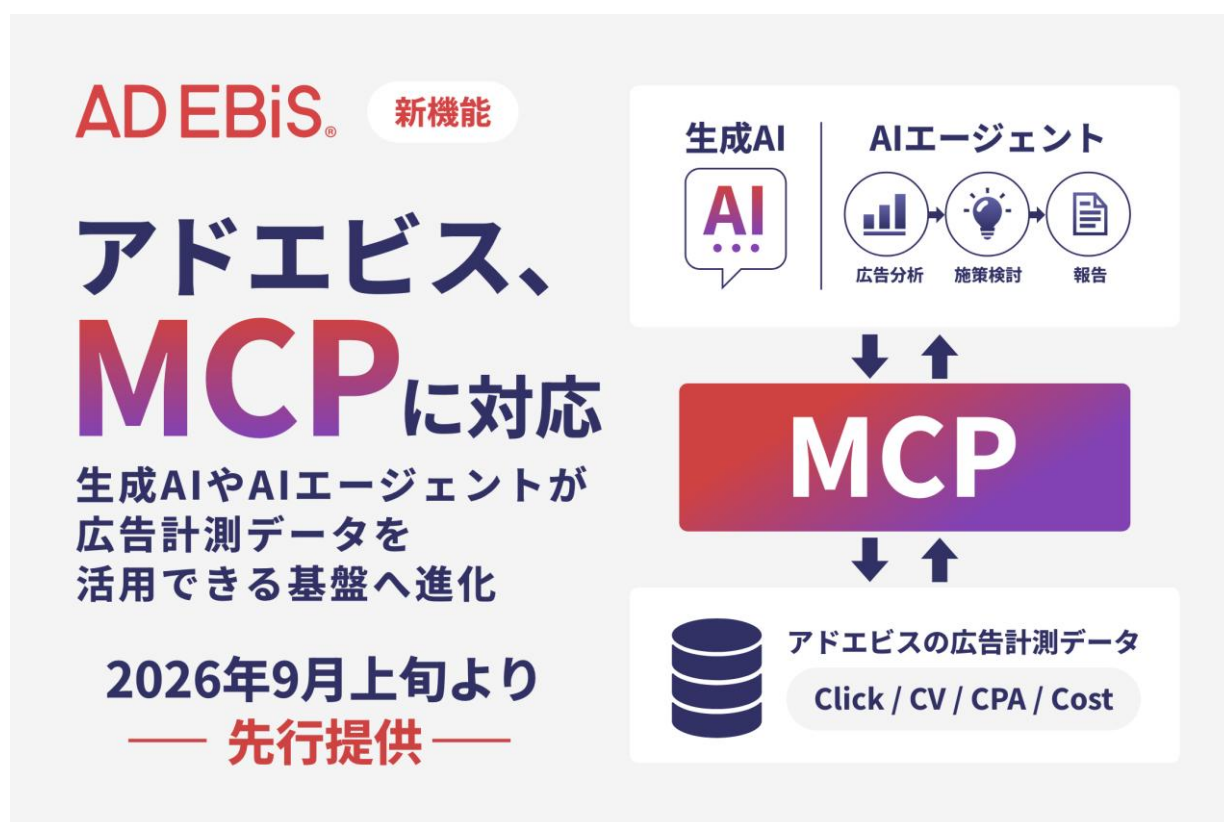
2026 年 8 月 28 日

株式会社イルグルム

アドエビス、2026 年 9 月上旬より MCP に対応
～生成 AI や AI エージェントが広告計測データを活用できる基盤へ進化～

株式会社イルグルム（本社：大阪府大阪市北区、代表取締役：岩田 進）は、広告効果測定プラットフォーム「アドエビス」において、生成 AI や AI エージェントと広告計測データを標準的な方法で連携する MCP (Model Context Protocol) に対応し、2026 年 9 月上旬よりアドエビスをご利用中の一部のお客様を対象に先行提供します。

本対応により、生成 AI や AI エージェントがアドエビスに蓄積された広告計測データを直接参照し、広告成果の分析やレポート作成はもちろん、複数の AI エージェントが共通の広告計測データをもとに連携しながら、分析から施策検討、報告までの一連の業務を遂行することも可能になります。しかし、どれほど優秀な AI エージェントであっても、参照するデータの精度を超える判断を行うことはできません。アドエビスは、高精度な広告効果測定を「AI の判断の土台」として提供し、AI エージェント時代のマーケティング業務全体を支えるデータ基盤へと進化します。



背景

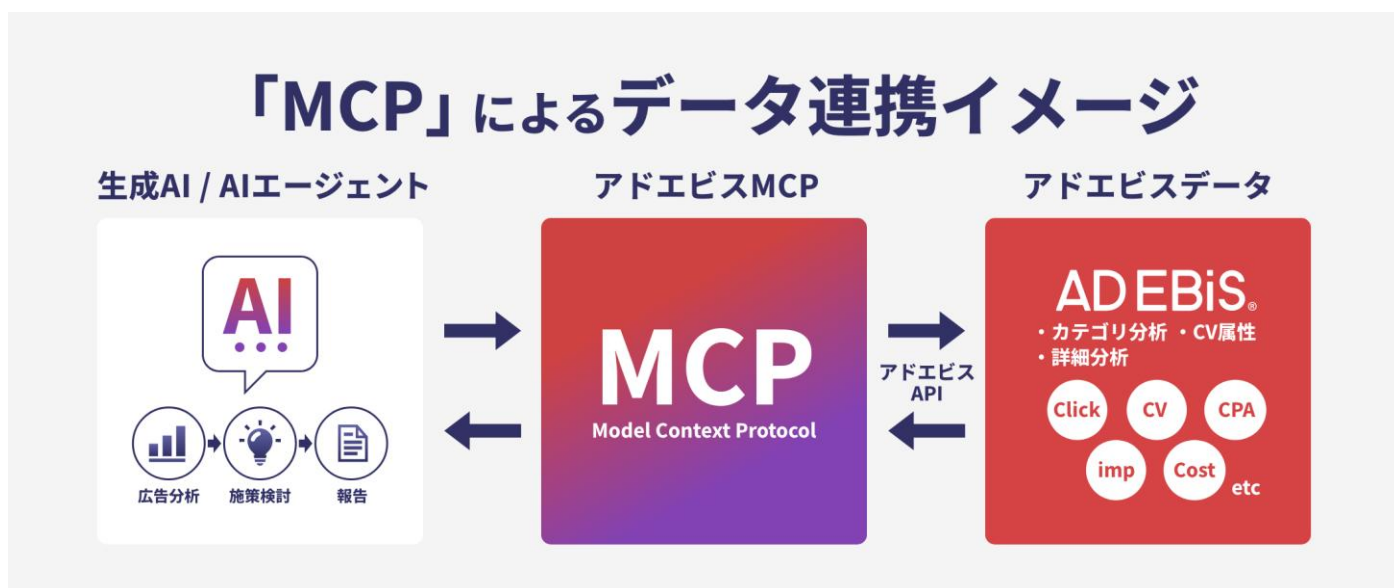
生成 AI や AI エージェントの進化により、企業における AI 活用は、個別業務の効率化や分析支援から、複数の AI エージェントが役割を分担しながら業務を進める段階へと移りつつあります。マーケティングの現場においても、データの収集や分析、レポート作成といった業務を AI に任せる動きが急速に広がっています。

一方で、AI による分析や判断の質は、そのもととなるデータに大きく左右されます。媒体ごとの管理画面に散在した数値や、重複したコンバージョン、間接的な貢献が反映されないデータをもとに分析を行えば、AI は高速に、かつ大量に誤った判断を下すことになります。さらに、広告計測データを AI で活用する際には、必要なデータをその都度抽出・加工する必要があるなど、データ連携の手間が継続的な活用の障壁となるケースもあります。

こうした背景から、正確で信頼性の高い広告計測データを蓄積するだけでなく、生成 AI や AI エージェントが必要なタイミングで、安全かつ標準的な方法で利用できる環境の重要性が、これまで以上に高まっています。

アドエビスの MCP 対応で広がる広告計測データの活用

MCP (Model Context Protocol) は、生成 AI と外部システムやデータを標準的な方法で接続するための共通仕様です。アドエビスが MCP に対応することで、生成 AI や AI エージェントから、アドエビスに蓄積された広告計測データを参照・活用できるようになります。



生成 AI による広告分析・レポート作成

例えば、対話形式での分析やレポート作成に活用できるようになります。「先月、最も CV 数が多かった広告は何?」「昨日、CPA が悪化した広告とその要因を教えて」などと問いかけるだけで、条件に応じた広告データを取得・分析できます。また、必要な期間や媒体ごとのデータを集計し、報告用の表やグラフを作成することも可能です。管理画面を開いてデータを書き出し、表計算ソフトで加工してレポートにまとめるという一連の作業が効率化でき、マーケターは成果の解釈と次の打ち手の検討に時間を使えるようになります。

複数の AI エージェントによるマーケティング業務の遂行

さらに、MCP 対応により、広告成果の監視、要因分析、施策立案、レポート作成など、それぞれの役割を担う複数の AI エージェントが、アドエビスの広告計測データを共通の判断材料として連携できるようになります。例えば「毎朝、前日の広告成果を確認し、CPA が悪化した広告があれば要因を分析したうえで、改善案とともに報告する」といった業務を、都度の指示を待たずに継続して進める運用も視野に入ります。

これは、レポートニング業務の効率化にとどまるものではありません。報告・共有のための作業を大幅に軽減し、要因の分析や施策の立案といった、データにもとづく改善活動へよりスムーズに移行できるようになります。MCP 対応は、従来のマーケティング業務の在り方そのものを前進させる一歩となります。

こうした活用を通じて、アドエビスは、高精度な広告効果測定に加え、AI エージェント時代のマーケティング業務全体を支えるデータ基盤へと進化します。

株式会社イルグルム 代表取締役 岩田 進 コメント

AI 時代において重要なのは、AI そのものだけではなく、AI が活用するデータです。マーケティングにおいて、広告や施策の成果を正確に計測できなければ、人も AI も適切な判断を行うことはできません。アドエビスは 20 年以上にわたり、高精度な広告効果測定を追求してきました。AI の活用が広がる今、その土台となる広告計測データの重要性は、これまで以上に高まっていると考えています。

今回の MCP 対応は、アドエビスに蓄積された広告計測データを、AI がより利用しやすい形で活用できる環境を提供するための取り組みです。

AI エージェントがマーケティング業務の実務を担う時代は、私たちの想定より早く訪れると考えています。そのとき問われるのは、AI に何を判断させるかであり、その判断を支える正しいデータをどれだけ持っているかです。アドエビスを、AI 時代のマーケティングにおける「判断の基準点」にしていきたいと考えています。

アドエビスの MCP 対応概要

- ・先行提供開始予定：2026 年 9 月上旬
- ・提供対象：アドエビスをご利用中の一部のお客様
- ・お問い合わせはこちら：<https://go.ebis.ne.jp/contact/>

※先行提供にあたり、生成 AI「Claude」を用いて事前検証を実施しています。

「アドエビス」について

アドエビスは、高精度なデータで意思決定を支える広告効果測定プラットフォームです。ユーザーのプライバシーにも配慮した計測データと、その分析・活用を通して企業がすすむべき未来を示します。

<https://www.ebis.ne.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社イルグルム 広報担当：加嶋

問い合わせフォーム：<https://go.ebis.ne.jp/contact/>

TEL：03-3289-5051

IR 情報

【2026 年 9 月期第 3 四半期】3Q 累計営業利益は前年比 2.5 倍に急拡大！通期利益予想を上方修正

・決算説明の動画および資料

https://yrglm.co.jp/ir/latest_results/

株式会社イルグルム（YRGLM Inc.）

大阪本社：〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 2-2-22 ハービス ENT オフィスタワー8F

東京本社：〒100-0006 東京都千代田区有楽町 2-2-1 X-PRESS 有楽町 12F

代表者：代表取締役 岩田 進

設立：2001 年 6 月 4 日

事業内容：マーケティング AI 事業、コマース AI 事業

URL：<https://www.yrglm.co.jp/>